



후회 없는 도전



飛び立とう、今！世界へ

DISCOVERY



令和7年度 福智町日韓交流事業

한국

in Korea

New me, new place!



FUKUCHI TOWN



【挑戦と学びが未来をつなぐ】

世界を架ける福智 To the WORLD

韓国の伝統的な衣装に身を包み、様々なミッション活動
をとおして絆を深めた研修生。上野焼のルーツである韓国
で、アジアの中にある日本を知り、グローバルな視点・異
文化理解の扉を開き、未来の可能性を広げます。

はじめに

福智町では、子どもたちの国際理解を深め、視野を広げるきっかけづくりとして、「FUKUCHI グローバルキャンプ」や「海外の学校とのオンライン交流」「ホームステイ受入事業」など町内で体験できる国際交流を推進してきました。また、子どもたちの「学び」と「意欲」を高めるため、実際に海外に行き、異文化を体験するグローバル人材育成海外研修事業も推進しています。

そして今回、子どもたちの進路や関心などが多様化・具現化される高校生を対象に、相互交流をとおして多角的な視点で物事を考える力を養い、将来的に国際社会で活躍できる人材育成につなげるため日韓交流事業を開始し7名の生徒が本事業に参加しました。8月から始まった事前研修では、問いを立て行動すること・チャレンジすることの大切さについて学び、本研修に向けて準備を進めました。10月の訪問研修、11月の受入研修で経験したこと、感じたことを事後研修で振り返り、報告会で発表します。

この報告書ではすべての研修の様子や、研修生の写真とともに紹介します。最後に本事業の実施にあたり、ご理解とご協力をくださった保護者のみなさま、学校関係者のみなさま、韓国でお世話になったすべてのみなさまに心より感謝申し上げます。

index

はじめに・事業概要	4
福智町研修メンバー	6
龍南高校メンバー	7
研修日程	8
事前研修	10
訪問研修	12
受入研修	17
研修生の感想	20

事業概要

① 福智町日韓交流事業の目的

上野焼開祖・尊楷ゆかりの地である大韓民国との交流を再開し、進路や関心などが多様化・具現化される高校生を対象に国際交流の機会創出を図ります。また、大韓民国の文化に触れ、国際理解を深めることで、アジアの中にある日本を知り、将来的に国際社会で活躍できる人材育成につなげ、日韓のよりよい相互関係の構築に貢献します。

② プログラムの概要

①事前研修▶目標設定、問いを立てること、韓国語レッスン、オンライン交流など（計5回）

【日程】 8月29日⑤、9月7日⑥、9月21日⑥、9月28日⑥、10月5日⑥

【会場】 福智町役場本庁舎 3F会議室

②本研修▶韓国・泗川市龍南高校生徒の家庭にホームステイ、学校交流、企業訪問、ミッション活動、福智町・泗川市友好の碑見学、作陶体験、航空教室

【訪問日程】 10月17日⑤～10月19日⑥ 2泊3日

【受入日程】 11月7日⑤～11月9日⑥ 2泊3日

③事後研修▶本研修で体験したことなどの振り返り、帰国報告会準備（2回）

【日程】 11月16日⑥、11月30日⑥

【会場】 福智町役場本庁 3F 会議室、福智町図書館・歴史資料館ふくちのち（福智町赤池970-2）

③ 参加者

福智町在住の高校生 7名

④ スタッフ

木村 貴代美（福智町企画振興課長）
犬丸 且久（福智町企画振興課長補佐）
松村 俊明（福智町企画振興課長補佐）
松熊 威幸（福智町企画振興課政策推進係長）
植田 圭美（福智町企画振興課政策推進係員）
和佐 翼（福智町企画振興課政策推進係員）

⑤ 委託業者

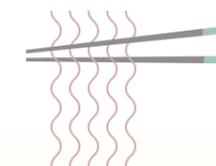
株式会社 旅ランド 直方支店

⑥ 現地プログラムコーディネーター兼通訳委託業者

TMAN. INC

⑦ 韓国での協力先団体

・龍南高校 ・K A I（韓国航空宇宙産業株式会社）
・日本航空 ・上野焼協同組合 ・渡窯 ・庚申窯
・北九州市観光課 ・ホストファミリーのみなさま



研修生紹介

第1回目の福智町日韓交流事業に参加した研修生および随員を紹介いたします。事前研修から4か月間ともに学び、切磋琢磨してきた仲間です。



西田川高 1年
長尾 乙愛
TOA



鞍手高 1年
松尾 修叶
SHUTO



田川科学技術高 1年
鈴木 利一
RIICHI



北九州高専 1年
平緒 千華
CHIKA



田川高 1年
植高 沙慧
SATOI



東鷹高 2年
若江 美穂
MIHO



嘉穂高 1年
矢島 和
YAMATO



研修講師
北 敢
ISAMU



福智町長
黒土 孝司
KOJI



企画振興課
木村 貴代美
KIYOMI



企画振興課
植田 圭美
TAMAMI



企画振興課
和佐 翼
TSUBASA

龍南高校研修生紹介

訪問研修と受入研修ではバディを組んで行動しました。ホームステイでは、訪問と受入の計4泊をお互いのバディの家で過ごしました。現地の家族のもとでリアルな日常生活や文化を体験し、日本との違いを学びます。



長尾 乙愛バディ 1年
カン・ミンギョン



松尾 修叶バディ 2年
カン・ジフン



鈴木 利一バディ 2年
チェ・ジウオン



平緒 千華バディ 1年
ソン・ボギョン



植高 沙慧バディ 2年
ホ・ジョンビン



若江 美穂バディ 2年
パク・ジホ



矢島 和バディ 2年
パク・ジンミョン



現地コーディネーター兼通訳
キム・ヒョンモ



龍南高校 校長
チェ・ヨンジン



龍南高校 物理教師兼指導主任
キム・ドンヒョン



龍南高校 日本語教師
ソル・スンウン



研修日程(訪問)

月日	場所	日本時間	行程	宿泊	食事・宿泊
10/17 (金)	福智町	6:00	出発式	ホームステイ泊	朝食：機内食 昼食：給食 夕食：給食
		6:30	福智町役場出発		
		7:40	福岡空港着		
		9:30	福岡空港発(福岡-釜山：便名 BX147)		
		10:30	金海空港着→龍南高校へ移動		
		12:00	学生マッチング		
		12:30	ランチ		
		13:30	KAI(大韓民国宇宙航空博物館)見学		
		15:50	学内インサイトツアー、部活見学		
17:40	夕食				
18:40	ホームステイへ				
10/18 (土)	泗川市	9:00	登校	ホテル泊	朝食：ホテル 昼食：泗川市内 夕食：中央市場
		午前	福智町・泗川市「友好の碑」見学 泗川窯場訪問、窯場体験		
		12:00	ランチ		
		13:00	窯場体験		
		15:00	泗川市→晋州市へ移動、ホテルチェックイン		
		16:00	晋州城韓服体験		
		16:30	晋州城ミッション活動及び夕食		
20:30	ホテルへ(ミッション活動まとめ及び感想発表)				
10/19 (日)	晋州市	7:00	朝食	ホテル泊	朝食：ホテル 昼食：晋州市内
		9:00	ホテルチェックアウト		
		10:00	憩いの場へ移動		
		11:00	キム・シミンクルーズ体験		
		12:00	ランチ		
		午後	晋州市→金海空港		
		17:55	金海空港発(釜山-福岡：BX144)		
		18:55	福岡空港着		
		19:30	福岡空港発		
21:00	福智町着				

研修日程(受入)

月日	日本時間	行程	食事
11/7 (金)	11:30	韓国団到着→鞍手高校へ	朝食：機内食 昼食：バスにてお弁当 夕食：ホームステイ先
	13:00	鞍手高校着	
	13:30	校長先生と対談	
	13:55	英語イマージョン授業	
	15:30	鞍手高校→福智町へ	
	16:00	ふくちのちにてものづくり体験	
	17:45	ふくちのち→本庁へ移動	
	18:00	対面式準備	
	18:30	対面式	
	19:00	ホームステイへ	
11/8 (土)	9:00	庚申窯・渡窯に集合	朝食：ホームステイ先 昼食：福智町内 夕食：ホームステイ先
	9:05	上野焼窯元見学、作陶体験	
	11:45	ランチ	
	12:45	小倉へ移動	
	13:45	小倉城見学・ミッション活動	
	17:00	福智町へ移動	
18:00	ホームステイへ		
11/9 (日)	7:00	福智町役場に集合→福岡空港へ	朝食：ホームステイ先
	8:30	JAL 航空教室	
	9:30	韓国団チェックイン	
	10:30	韓国団お見送り	
13:00	福智町役場到着、解散		



福岡から韓国への飛行時間は1時間!近いプク!



日本と韓国は時差がないプク!

5日間の事前研修で学びに深みを。

コーディネーターの北先生を迎え、全5回の事前研修を実施しました。「目標設定」「問いを立てる」をテーマに研修が有意義な経験となるよう、力を入れて取り組んでいます。

第1回 2025.08.29

保護者説明会&自己紹介

研修生初対面!これから行動をともにしていく仲間のことを知り、覚えるために自己紹介を行いました。初めは緊張していましたが、少しずつ親睦を深めていきました。



第4回 2025.09.28

問いを立てる

教育、産業、地形、歴史、文化などそれぞれの分野に分け、たくさんの問いを立てました。問いを深掘りしていくことで、また新たな問いが生まれ自分が本当に知りたいことは何なのか考えるきっかけ作りを行いました。



第2回 2025.09.07

オンライン交流

龍南高校の生徒とオンラインで交流し、龍南高校の紹介や韓国での生活についての説明を真剣に聞きました。龍南高校の生徒と初対面の福智町研修生は、これから交流する生徒たちと、ともに学ぶことを楽しみに現地での再会を約束しました。



最終説明会 2025.09.28

韓国渡航前の最終準備

渡航準備を整え、安全安心の現地研修ができるよう渡航前の最終説明会を実施。現地通訳の方を交えて、韓国語レッスン持ち物の確認、健康管理、緊急時の対応などを説明しました。

第3回 2025.09.21

上野焼と泗川市の繋がり

渡窯・渡仁さん、庚申窯・高鶴裕太さんを招き、上野焼の歴史やこれからの上野焼について学びました。上野焼のルーツや上野焼の未来など、現役陶芸家から実際に話を聞くことで福智町に住んでいても知ることができない知識を得ることができました。



第5回 2025.10.05

目標設定

韓国での訪問研修も含め、研修全体の自分のテーマを設定しました。研修生たちは自分が興味のある分野に関するテーマを設定し、事前調査を繰り返し行いました。19日後に韓国へ出発です!



福智町から上野焼のルーツ 韓国・泗川市へ上陸。

家族に見送られ、期待を胸に福智町を出発した研修生。龍南高校のあたたかい歓迎を受けた後、夜遅くまで韓国の高校の授業を体験しました。



↑出発式で決意を語る研修生ら。保護者や関係者など多くの方に見送られ、期待で胸をふくらませながら福智町役場を出発しました。

韓国を代表する大企業で 世界の先端技術を体験!

陶磁器の町から宇宙産業地帯へと変貌をとげ、韓国を代表する大企業・KAI（韓国航空宇宙産業株式会社）が本拠地を置いている泗川市。なぜ、泗川市がここまで発展できたのか、施設見学や体験をとおして泗川市の展望や航空宇宙産業の未来について考えました。



【飛行機組み立て時のビス打ちに挑戦】



【コックピットで飛行機の操縦体験】



通常は入ることのできない航空機工場の見学や飛行機の仕組みを体感できるシミュレーターを使ってパイロット体験を行いました。



【龍南高校の学食で給食を食べる研修生。給食には様々な種類のキムチがあり、日本の給食との違いを実感。】



↑物理の授業で望遠鏡作成に挑戦するが苦戦する生徒たち。



【先進的な外観の龍南高校】



【あたたかい歓迎を受けた研修生】



【数種類のキムチが入った給食】

学校交流で 日韓の違いを発見!

「大韓民国優秀教育施設公募展」で大賞を受賞した泗川市にある龍南高校。私立学校である龍南高校の校内は先進的なデザインで学生が快適に勉強できるよう工夫がされており、日本の学校との違いを実感しました。韓国の高校生は毎日 21 時 30 分まで学校で勉強しており、韓国学生の勤勉さに驚きました。



【中学生のオーケストラを鑑賞】



【校内でパレードとブライ体験】



【バレー部の練習に参加】



【日本文化の授業で縁起物を作成】

PICK UP



韓国の伝統的なお守りの一種で竹や藁で編まれた縁起物である福じゃくし。韓国ではポクチョリと言い「福を包む」という意味を持ち、旧正月の時期に福を願い玄関などに飾られます。



上野焼のルーツをたどり ふるさと福智へ想いを馳せる。

2日目は泗川市・福智町友好の碑や泗川市の窯元を訪れ、異なる角度から上野焼の歴史を学び、両国の陶磁器の歴史や未来について考えました。



↑泗川市と福智町には「泗川市・福智町友好の碑」が建てられています。日韓のより良い関係が続くよう、この記念碑に願いました。



【韓国で初めての作陶体験】



【手びねり体験難しかった】



【記念に泗川の陶器を購入】

上野焼の開祖・尊楷ゆかりの 地で学ぶ福智と陶器の歴史

上野焼は約420年前に豊前藩主細川忠興が李朝陶工の尊楷を招き現在の福智町・上野に窯を気づいたのが始まりです。以来、徳川時代の茶人・小堀遠州が推奨した遠州七窯の一つとして発展してきました。

PICK UP



泗川市で作陶した器が3週間後に完成し、龍南高校のみなさんが福智町の研修生に届けてくれました。器は緑色の釉薬で色づけられ、完成度の高さに驚きました。



韓国最大の晋州南江流灯祭り 日韓の歴史と文化を学ぶ。

晋州城では韓国の伝統衣装・韓服を着てミッション活動を行いました。チームで協力してミッションに挑むことで仲間と協力すること、挑戦することの大切さを学びました。



↑広大な敷地面積を誇る晋州城で初めての韓服を身に纏い、チームで協力してミッションを達成！強い絆が生まれました

晋州城の ストーリーに触れる

晋州城は古代に初めて建てられ、1379年に海賊の侵入を防ぐために増築されました。日本が朝鮮を侵攻した文禄・慶長の役では2回の戦闘があり、日本と韓国の深い歴史がある場所です。現在は博物館やカフェなども併設され、美しい景色を誇っています。



【ハモちゃんの前でチームで記念撮影】



【ドローンショーのハモちゃん】



【27万人が訪れた花火大会】

PICK UP



晋州市のマスコットキャラクターのハモちゃん♡市内には至るところにハモちゃんの看板があり城周辺ではたくさんのグッズが販売されていました。研修生たちは福智町に取り入れられることはないか思考を凝らしました。



韓国で培った新たな 価値観と紡いだ絆を胸に

韓国でのたくさんの思い出を胸にバディと再会を誓い日本へ帰国します。
3日間という短い期間でしたが国境を越えた強い絆ができました。



↑ 晋州城でのミッションの成果を発表しました。優勝チームには韓国の食べ物セットがプレゼントされました。



【移動中はみんな爆睡でした。】



【ドンヒョン先生とも仲良くなった!】



↑ 3日間の交流はとても意義のある研修で、韓国でのたくさんの思い出は研修生たちの心に刻まれました。



【また来月会おう!と約束した研修生】



【初めてのチョッパルに挑戦】

鞍手高校で学校交流

英語イメージング授業が行われている鞍手高校で、体育や古典、生物などの授業を見学。休み時間には龍南高校の生徒の周りに人だかりができるほどあたたかい歓迎を受けました。



↑ 短い交流でしたが、お別れの時間になると全校から鞍高生がお見送りに来てくれました。



【フレンドリーな鞍高生に感動!】



【言葉が通じなくても仲良くなった】



【ものづくりラボでフォトフレーム作成。】



【舞楽と南木囃子を披露しました!】



【ソル先生の結婚をサプライズでお祝い!】



↑ 金田の祭り囃子を披露するなど福智町からの歓迎を受けた龍南高校生。1か月越しの再開を果たしました。

日本の伝統文化や歴史に触れ 新たな泗川との繋がりを学ぶ。

上野焼の作陶体験や茶道体験、小倉城でのミッション活動を通じて日韓の歴史や泗川との繋がりを学んだ研修生。チームで最後のミッションをやり遂げました。



↑ 泗川市に福智町と同じ記念碑があり、この記念碑を通じて日韓の絆を再確認しました。



↑ みんなで最後のミッションに挑戦。役割分担を決めて皆で協力しました。



【ろくろでの作陶に初挑戦!】



【初抹茶は苦いけど美味しかった!】



【江戸時代のお姫様になりきり!】



【初めての着物で龍南高校生も笑顔に。】



【短時間で仲間と協力しスライドが完成!】

両国での新しい経験と思い出は いつまでも私たちの心に

訪問から受け入れまで計6日間をともに過ごした研修生。短い交流でしたが、別れ際には涙が止まらなくなるほど強い絆とたくさんの思い出ができました。



↑ 3日間ともに過ごした家族と最後のお別れ。兄弟や両親が手紙やプレゼントを渡していました。



【JALによる航空教室】



【バディとの最後の別れに涙が止まりません。】

Special Interview

挑戦するその姿勢が 成長の大きな糧に



言 語が違う中で、自分の想いを伝えることはとても大変なことです。しかし、子どもたちはお互いに理解しようとする姿勢があったからこと、そこには強い絆が生まれていました。大事なことは試みる勇気と違う文化を受け入れる姿勢。今回の経験がグローバルな視野を広げるだけでなく異文化を受け入れる大切さを学ぶきっかけになったと思います。

福智町ではこのような交流事業をたくさん行っているのでも、みなさんも自ら進んで応募してみてください。自分の視野を広げるために挑戦することは人生にとってとても大切なことです。これからも子どもたちの人材育成を福智町と一緒に進んでいけたら嬉しいです。



ソル・スンウン先生

龍南高校 日本語教師

研修生の声①



田川高等学校 1年

植高 沙慧 SATOI UETAKA

この研修でしか学べないことを経験し、韓国や日本のことをもっと知りたいと思うように。

私が今回の日韓交流事業に参加した目的は、韓国の文化や価値観を自分の目で見て理解を深めること、そして「韓国の人たちは日本をどう見ているのか」を知ることで国際的な視野を広げることでした。将来、さまざまな国の人と協働する場面が増える中で、異文化理解は欠かせない力になると考えたからです。事前研修では泗川市の歴史や韓国の社会事情について調べ、実際に現地を訪れ、さらに受け入れまで経験したことで、当初掲げた目標以上の学びを得ることができたと感じています。

特に印象に残ったのは「文化や価値観の違いが、出会いの場で自然と表れていた」ということです。晋州城でのミッションでは、韓服を着ていた現地の方に質問すると、皆さんが明るい笑顔で応えてくれ、韓国の人々のオープンさに驚かされました。一方、小倉城でのミッションでは、日本人である私自身が知らなかった歴史や文化を、韓国のバディと一緒に学ぶ場面が多くありました。日本では昔から伝わるものを大切に守り続ける文化が根強く、韓国ではドローンショーのように新しい技術を積極的に取り入れる姿勢があるなど、両国には違いがある一方で、「相手を思いやる心」はどちらの場でも変わらないことに気づきました。文化は違っても、人の温かさは共通しているのだと実感しました。

龍南高校への訪問でも、その“温かさ”を深く感じました。校舎に入るとすぐに生徒の皆さんが話しかけてくれ、名前やインスタグラムを聞かれたり、上手な日本語で挨拶してくれたり、距離の縮め方がとても自然で、歓迎の気持ちがストレートに伝わってきました。もし私の学校に韓国の子たちが来てくれたとして、同じように振舞える自信はありません。

また、昼食や夕食で出された給食はどれも韓国らしさが感じられる味付けがとても美味しく、特に夕方にまで給食が出るという点から、韓国の学業への向き合う文化というものに圧倒されました。学習への姿勢の違いにも、文化の特徴が反映されていることを学びました。

さらに、ホームステイでは単に文化の違いを知るだけでなく、「一緒に時間を過ごすこと」がどれほど心の距離を縮めるのかを身をもって体験しました。最初はお互い緊張してぎこちなかったのに、翌朝にはその家の家族と笑いながら会話をしている自分に気づきました。受け入れ側として日本でバディを迎えたときも同じで、言語や習慣の違いがあっても、過ごした時間の分だけ心の壁が自然となくなっていくのを感じました。

今回の交流を通して、私は「近い国でも文化も食べ物も人も全く違う」という当たり前のことを、改めて深く理解することができました。しかし同時に、違いがあるからこそお互いから学び合える魅力があり、交流はその扉を開く大切な鍵になることも知りました。今回の経験は、机の上で勉強しているだけでは決して得られなかったものです。これからも韓国のこと、そして福岡のこと、日本のことをもっと知り、視野を広げ、人と人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。



韓国のお土産をもらった!



作陶うまくできた!

研修生の声②



田川科学技術高等学校 1年

鈴木 利一 RIICHI SUZUKI

研修のおかげで苦手なことから目をそらさず、挑戦し向き合うことができるようになった。

今回の日韓交流事業で泗川市を訪れたことは、僕にとって自分の考え方や行動を大きく変えるきっかけになりました。研修に参加する前の僕は、「韓国の文化を実際に体験してみたい」「現地の高校生と話して価値観を知りたい」という純粋な興味から応募しました。けれど、実際の研修で得たものは、その“興味”をはるかに超えていました。今振り返ると、この研修は僕の成長にとって大きな節目だったと思います。

僕はもともと、人前でアドリブを交えて話すことがとても苦手です。発表の場では頭が真っ白になってしまい、自分の思っていることをうまく言葉にできないことが多くありました。だからこそ、この研修では「自分の考えを自分の言葉で伝える力をつける」という目標を持って臨むことにしました。

泗川市での研修が始まってすぐ、僕は予想以上に“話す場面”が多いことに気づきました。説明を求められたり、意見を聞かれたり、バディと交流したり、言葉で伝えなくてはいけない状況が次々と訪れました。そのたびに、自分の弱さが目の前に突きつけられるようで苦しくなる瞬間もありました。特にバディとのやり取りでは、韓国語が全然出てこず、アドリブもできず焦りばかりが募って、何を話せばいいのか分からなくなることもありました。

そんな時、バディが優しく「ゆっくりでいいよ」と声をかけてくれました。それは僕にとって救いの言葉でした。言葉が完璧に伝わらなくても、「伝えようとしている気持ち」を相手を受け止めてくれたことで、胸が温かくなりました。この経験から、僕は“間違えてもいいから自分の言葉で話してみる”という小さな挑戦ができるようになりました。たとえ言葉がつかずいても、伝えようとする姿勢こそ大事だと気づけた瞬間でした。

また、バディを福智町に案内する場面でも緊張しました。自分の町を紹介する責任感もありましたが、バディが興味を持って話を聞いてくれたことで、少しずつ話すことへの不安が薄れていきました。

帰国して全体を振り返ってみると、僕はまだ人前で話すことが得意なわけではないし、アドリブも上手くできるようになったとは言えません。それでも、この研修を通して「苦手だからやらない」という考えを、「苦手でもやってみる」に変えることができました。これは僕にとって大きな成長です。苦手なことから逃げず、向き合えるようになったことこそ、この研修で得た一番の成果だと思っています。

これからの学校生活でも、人前で話す機会があっても避けずに、小さくても挑戦を重ねていきたいです。そしていつの日か、自信をもって自分の言葉で、福智町の魅力を誰にでも伝えられるようになりたいと思います。今回の研修で生まれた“挑戦する姿勢”を、これからの自分の成長につなげていきたいです。



バディと家族でスシローへ!



日本でもバディと写真を撮れた!

研修生の声③

東鷹高等学校 2年

若江 美穂 MIHO WAKAE

研修をとおして質問力が向上。将来の夢のためにも様々な国に行ってみたいと思うように。



私は今回の韓国研修を通して、自分の将来の夢である「CAになる」という決意がこれまで以上に強くなりました。その理由は、言葉が通じない場面で、自分の力不足を強く感じたからです。ホームステイ先で思うように韓国語が出てこず、伝えたいことがうまく言えなかった瞬間は、本当に悔しくて「もっと話せるようになりたい」と心から思いました。

しかしその悔しさが、私を大きく成長させてくれました。事前研修では質問することが恥ずかしくて勇気が出せなかったが、実際に韓国で生活する中で、「聞かなければ伝わらないし、知れない」ということを実感しました。思い切ってホームステイ先の家族やバディに質問したことで、韓国の文化や学校生活についてたくさん教えてもらい、行動することの大切さを深く学びました。

現地では驚くことも多くありました。ヨナム高校では学年ごとに職員室があったり、授業が7時間や8時間続いたり、日本との違いに驚きました。また、夜の晋州城では警察官が2～4人で細かく交通整理をしていたことや、祭りの翌朝でも街に全くゴミが落ちていなかったことも印象的でした。国が変わると、こんなに文化や価値観が違うのだと実感しました。

中でも一番心に残っているのは、晋州城で行ったミッション活動です。韓服を着た韓国の学生に韓国語でインタビューするのはとても緊張しましたが、勇気を出して話しかけると笑顔で答えてくれて、インスタを交換して今でも連絡を取り合っている友達ができました。「言葉が完璧じゃなくても、気持ちがあれば伝わる」ということを身をもって知りました。

反対に、日本での受入研修では、韓国の学生が日本人にインタビューしたとき、個人情報だから答えられないと言われて驚いていました。文化の違いを感じた瞬間でした。バディのジホちゃんと一緒に浴衣を着たり、日本文化を体験してもらったことはとても大切な思い出です。

そして、この経験すべてが、私の夢であるCAへの思いを確かなものにしてくれました。JALの航空教室でグランドスタッフの方に質問したとき、「相手の言語や文化を理解しようとする姿勢が一番大切」という言葉を聞き、まさに今回の研修で私が学んだことだと感じました。将来、世界中のお客さまを笑顔で迎えられるCAになるために、これからもっとコミュニケーション力を高め、いろいろな国に行つて文化を学び、言葉の壁を越えられる自分になりたいと思います。

この研修で得た経験、悔しさ、気づき、そして出会えた仲間たちは、私にとってかけがえのない宝物です。参加して本当に良かったと心から思います。



バディとバディの家族と記念写真!



バディと着物を着たよ!

研修生の声④

鞍手高等学校 1年

松尾 修叶 SHUTO MATSUO

上野焼の魅力を知り、上野焼だけでなく福智町の素晴らしさも世界中に広めていきたい。



私は今回の日韓交流事業を通して、「問いを立てながら学ぶ姿勢」を身につけ、大きく成長することができました。研修全体を振り返ると、私が得た学びは、知識や経験そのものだけではなく、「ものごとの本質を考え、深く理解しようとする力」だったと強く感じています。

まず、事前研修では三つの学びがありました。一つ目は、韓国について調べる中で興味深い情報に出会い、自然と「もっと知りたい」という探究心が芽生えたことです。調べれば調べるほど疑問が増え、知りたいことが広がっていく経験は、自分を大きく刺激しました。二つ目は、仲間とのコミュニケーションを通して協力の大切さを学んだことです。意見を出し合いながら研修を進める中で、一人では生まれぬ気づきや考えが仲間との対話から生まれました。三つ目は、福智町の魅力を改めて理解できたことです。上野焼の職人さんから歴史や制作工程、作品に込める思いを聞き、地元の文化の価値を深く実感しました。「自分たちが発信しなければ広まらない」という視点を持てたことは、大きな学びでした。

次に、韓国での現地研修では、さらに深い学びがありました。一つ目は、言語が異なる相手とも積極的にコミュニケーションを取り、気持ちを伝えられたことです。英語で知っている単語をつなぎ、足りない部分はジェスチャーで補いながら意思疎通した経験は、「伝えたい思いがあれば言語の壁は越えられる」という実感につながりました。二つ目は、福智町の魅力を韓国の方々に紹介する中で、自分自身も上野焼について深く学べたことです。説明するためには自分が理解していなければならないため、紹介する活動そのものが私にとって学びの時間になりました。三つ目は、異なる文化を比較しながら理解できたことです。以前経験したハワイ研修と今回の韓国研修を通して、国が違えば習慣や価値観も大きく異なるという当たり前のことを、実体験として深く理解することができました。

そして、この研修の最も大きな成果は、「問いを立てる」という力を身につけたことです。最初は何をどう質問したらよいか分からず、問いを立てることが難しく感じました。しかし、北先生のアドバイスや仲間との対話を重ねるなかで、一つの物事について「なぜそうなるのか」「その背景には何ががあるのか」と、多角的に考える癖がつかえました。問いを立てることで、景色も、会話も、文化の違いも、ただの情報ではなく「意味のある学び」へと変わっていきました。

今回の交流事業を通して、私は自分の視点を広げ、ものごとを深く考える力を身につけることができました。この学びを今後の人生でも活かし、どんな場面でも「自分なりの問い」を持ちながら成長し続けたいと思います。



受入研修でバディと楽しく過ごした一夜!



バディとオブジェのモノマネ!

研修生の声⑤



西田川高等学校 1年

長尾 乙愛 TOA NAGAO

積極性が向上し、自分に自信を持てたこの研修は自分が変わるきっかけとなった大切な経験に。

私は今回の日韓交流に参加するにあたって、「自分から積極的に行動し、韓国の文化を自分の目で見て感じたい」という目標を立てていました。韓国語にも元々興味があり、初めて学んだ言葉を実際に使ってみたいという思いが、不安よりも大きなワクワクにつながっていました。

事前研修では、韓国の歴史や文化、生活習慣について学び、その中でも韓国の高校生が毎日長い時間を勉強に費やしていることが強く印象に残りました。同じ高校生でも、国が違うだけで大切にしている価値観や生活リズムがまったく異なることを知り、交流への期待はさらに高まりました。

実際の韓国研修では、事前に学んだ知識を超える発見の連続でした。特に心に残っているのは、韓国の学生と一緒に韓服を着て晋州城を巡ったミッション活動です。言葉が完全に通じなくても、笑顔やジェスチャーだけで気持ちが伝わり、自然と距離が縮まっていく瞬間が何度もありました。文化が違うからこそ、お互いに新しい学びや驚き生まれ、一緒に過ごした時間がとても豊かで楽しいものになりました。また、自分の韓国語が相手に伝わった時の「わかった!」という表情を見た瞬間は、大きな自信につながりました。

今回の交流で、私が最も成長したと感じたのは「積極性」です。これまでの私は、初対面の相手に自分から話しかけることに少し不安があり、間違えることを気にして行動できないことがありました。しかし、韓国では「伝えよう」と勇気を出して一歩踏み出すことで、より深い交流が生まれることを実感しました。言葉の壁があっても、気持ちや姿勢があれば相手は必ず応えてくれる。その経験が、私の背中を大きく押してくれました。

今後は、この積極性を学校生活にも生かしていきたいと思います。国や文化が違う人との会話は最初こそ不安でしたが、自分から行動すれば相手も心を開いてくれるということを学びました。この体験があったからこそ、これからは他学年の人やこれまで話したことの無い人にも、自分から声をかけてみたいと思えるようになりました。

日韓交流事業は、ただの海外研修ではなく、私が自分自身と向き合い、変わるきっかけとなった大切な経験です。勇気を出して踏み出した一歩が、見える景色を大きく広げてくれました。この研修で得た学び、「伝えようとする気持ちの大切さ」を胸に、これからの学校生活や将来の進路にもつなげていきたいと思っています。そして、どんな場面でも臆せず挑戦できる自分であり続けたいです。



また会おう!とパブディと再会を約束



韓国で撮った思い出のポリクラ

研修生の声⑥



北九州工業高等専門学校 1年

平緒 千華 CHIKA HIRAO

国籍を超えた繋がりができ、今後は相手に寄りそい、語学の勉強に力を入れていきたい。

今回の日韓交流事業に参加するにあたり、私は「韓国の人と積極的にコミュニケーションをとり、文化や生活の違いを自分の目で確かめ、実際に体験すること」を目標にしていました。日本やハワイ、オーストラリアなど、今までさまざまな文化に触れる機会はありませんでしたが、韓国にはまた異なる価値観や生活習慣があるはずだと感じ、その違いを自分自身で確かめたいと思ったからです。事前に調べる中で、夜まで授業が続くため夜の給食があることや、夜食文化が根付いていることなど、特に食生活の違いが印象的でした。また、泗川市が航空宇宙産業で大きく発展していることを知り、「もともと焼き物の町だった地域が、なぜ全く別の分野で成長したのか」という疑問が私の大きな問いになりました。

実際に現地に行くと、街のあちこちに宇宙関連の看板が掲げられ、地域全体で航空宇宙産業を盛り上げている雰囲気を強く感じました。新しい分野へ積極的に挑戦し、それを地域の誇りとして発信していく姿勢はとても印象的で、「この前向きな姿勢は福智町にも通じるものがあるのではないか」と考えるきっかけになりました。

そして何より、交流を通して韓国の方々の温かさと優しさに触れたことが、私にとって一番心に残っています。言葉がうまく通じない私にも丁寧に接してくれたり、理解できるように話そうとしてくれる姿勢に触れ、私自身も周囲の人との接し方について深く考えるようになりました。中には日本語を独学で勉強している学生もおり、その努力や向上心に尊敬の気持ちを抱きました。言語が通じない場面でも翻訳アプリやジェスチャー、英語を使って必死に伝えようとしてくれる姿を見るたびに、「仲良くなりたい」という思いが言語の壁を越えて伝わってくるのを感じ、国をこえたつながりが自然に生まれていきました。

今回の交流を振り返って、私が最も成長したと感じるのは「相手の立場に寄り添いながらコミュニケーションをとれるようになったこと」です。韓国語を完璧に話せなくても、伝えやすい言葉を選んだり、ゆっくり話したり、表情や動作も交えて思いを伝えようとする姿勢のほうがかはるかに大切だということを実感しました。言語に頼るだけでなく、相手に伝えたいという気持ちと工夫で、これまで経験したことのない深い交流ができたと感じています。

これからの学校生活では、今回学んだ「相手を尊重し、寄り添いながら話す姿勢」を大切に、人との関わり方をより良いものにしていきたいです。クラスメイトに対しても、言葉選びや伝え方を意識し、丁寧に接することでより良い関係を築きたいと思っています。また、韓国の学生たちの学び続ける姿勢にも大きな刺激を受けたので、自分も語学の勉強に力を入れ、より広い世界でコミュニケーションできるようになりたいです。



韓国語でインタビューに挑戦!



操縦体験で新たな才能を発見!

研修生の声⑦



嘉穂高等学校 1年

矢島 和 YAMATO YAJIMA

相手を受け入れる姿勢や新しい環境を吸収しようという積極的な態度の重要性を実感。

今回の泗川市との交流事業では、ハワイやアメリカでの研修とは異なる新しい経験を多く得ることができました。私はこれまで、ハワイやアメリカ・サニーベールなどで交流事業に参加してきましたが、そのほとんどは一つの国との交流に限られており、他の地域や国の文化に触れる機会はあまりありませんでした。今回の日韓交流事業に参加することで、交流の幅を広げ、異なる文化や価値観を自分の目で確かめたいと思いました。そのため、研修に参加するにあたっての目標は、「韓国と日本の文化を理解し、疑問に思ったことは積極的に質問して韓国への関心を深めること」でした。

研修前は、韓国の方々としっかりコミュニケーションがとれるかどうか、不安もありました。しかし、事前研修で韓国語を学ぶ機会があり、さらに韓国の学生も日本語を勉強してくれていたおかげで、会話は想像以上にスムーズで楽しく進みました。言葉の壁があっても、相手の努力や自分の積極的な姿勢があれば、十分に交流できることを実感しました。

現地での生活では、ホストファミリーの生活スタイルや公共の場でのマナーの違いなど、慣れない環境に戸惑うこともありました。しかし、パートナーの助けや過去の交流経験を活かすことで、自然に過ごすことができました。さらに、文化の違いについて質問し、理由を知ることによって、韓国だけでなく日本の文化や生活に対しても新たな視点を持つことができました。特に、韓服を体験する機会では、一人一人の服選びに個性が現れ、文化の多様性を直に感じるすることができました。

受け入れ側として日本で交流する際も、バーベキューをしたり研修外で集まって遊んだりすることで、普段は経験できないような楽しい思い出を作ることができました。こうした交流の中で、言語や文化の違いがあっても、相手を受け入れ、新しい環境を積極的に吸収しようとする姿勢があれば、互いの距離は自然に近づくのだと学びました。

今回の研修で得た経験や気づきは、今後の生活にも大いに生かれます。普段の学校生活や友人関係においても、相手の立場に寄り添い、積極的にコミュニケーションを取る姿勢を大切にしていきたいです。また、文化や価値観の違いに気づき、多角的に物事を考える力を養うことで、自分の視野をより広げていきたいです。この研修で学んだ「積極性と相手を受け入れる姿勢」を胸に、これからも新しい経験に挑戦し続けたいと思います。



パティの家族から歓迎を受けた!



韓服で仲良し3人組で写真撮影!

未来の研修生へメッセージ

MESSAGE FROM STUDENTS

Satoi



高校生になり研修との両立が厳しい時もありましたが楽しいこともたくさんあり、別れ際には泣いてしまいました。挑戦する最初の一步はとても難しいですが、その一步を踏みだした人は必ず将来の役に立つと思いますし、新しい友達もたくさん作れると思います! ぜひ参加して交流の架け橋となってください。

Riichi



私は元々人前で話すのが苦手で、不安も大きかったけど、現地の人の優しさに救われて自然と前に進めました。自分のペースで挑戦すれば、必ず成長を感じられるのでぜひ勇気を出して参加してみてください。

Miho



私はこの研修に参加して、自分から質問したり行動したりすることの大切さを学びました。私は実際に行動することができたので、自分から行動することが苦手な人にとっては、この研修は「成長できる場」だと思います! 韓国の友達もすぐにできて、現地研修ではミッション活動もあり楽しいのでぜひみなさん参加してみてください!!

Shuto



この研修の意義は、実際に韓国に行けること? 私はこの研修の意義は、福智町の人との交流、福智町について知る、韓国の文化について知る、日本と韓国の違いについて考える、このようなものだと考えます。家で勉強? それも良いでしょう。しかし、この研修を体験することで普段の勉強では得難いものがあると思います。ぜひ参加してみてください。

Toa



私は元々自分から行動できなかったけれど、この韓国研修で多くの人と出会い、様々な体験をして自分の世界を広げることができました。少しでも韓国に興味があるなら、ぜひ行ってみてください! きっとあなたの世界も広がります。

Chika



韓国研修は、新しい価値観に触れ、自分を大きく成長させてくれる機会です。少しでも興味がある人は、ぜひ一歩踏み出して挑戦してみてください。きっと次の自分に繋がる経験になります。

Yamato



少しでも興味が湧き、行きたいと思ったら、ぜひ応募してみてください! 新しい出会いと忘れられない経験をする事ができます。どんな思い出もこの研修に参加するという第一歩を踏み出さないと生まれません。

Seungeun



今年の交流はお互いの文化を直接体験し、大きな成長ができた意味深い時間でした。来年はもっと多くの友達が新しい視線と経験を得ることを期待します。勇気を持って挑戦してみましょう!

Donghyeong



韓国でのホームステイは、実際の韓国の家庭の文化や雰囲気を体験する貴重な経験になるでしょう。言語は問題ありません。心で対話し、コミュニケーションを取りながら、忘れられない思い出を作ることを期待しています。



【挑戦と学びが未来をつなぐ】

世界を架ける福智 To the WORLD

